

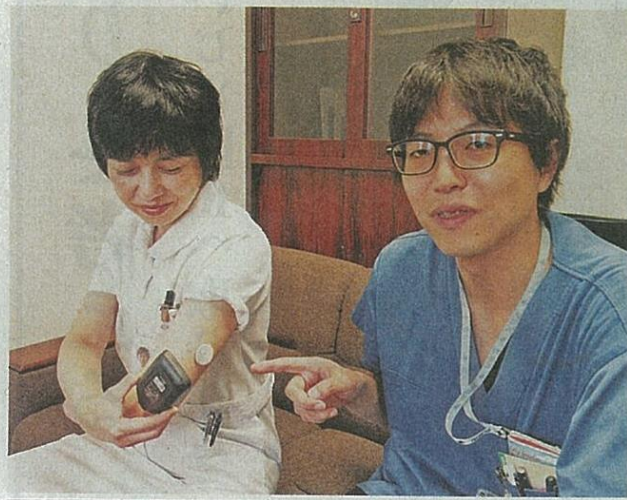
釧路新聞に掲載されました。

釧路太平洋記念みなみ病院に導入

糖尿病患者に最新医療

血糖測定 センサーで簡単に

フリースタイルリブレ
について紹介する樋渡
医師(右)



同機器は短い針が付いた
五百円玉大の使い捨てセン
サーを腕に留め置き、携帯
可能なデバイス(センサー
にかぎらず)と間質液(細胞間
液)中のグルコース値を連
続で測定・記録できる。測
定は一分置きに自動で行わ
れ、一度の装着で最長14日
間の測定が可能だ。デバイ
スをかきす際は服の上から
でも問題なく行え、センサ
ーを付けたままの入浴や運
動もできる。
このような持続血糖測定
検査は、従来の血糖測定で
の補正が必要であったり、
除却後に確認するものが主
流だったが、「フリースタ
イルリブレ」はリアルタイ

釧路市春採7の太平洋記念みなみ病院(富安孝則院長)は7月から、糖尿病を治療中の患者に対し、2017年に発売された最新医療機器「フリースタイルリブレ」の取り扱いを始める。同機器の導入は4月に同院に赴任した糖尿病専門医の樋渡大医師(37)が推進している。(藤井登菜)

ムで簡単に確認できる。同今年4月に長野県の信州大
院ではインスリンなどの自
己注射を行っている患者に
対し、負担が増えないよう
保険適用で診療を行ってい
く。また、内服での治療を
行う患者も、自費購入での
相談も行う。
導入を推進しているのは
今年4月に長野県の信州大
学医学部付属病院から同院
へ赴任した樋渡医師。糖尿
病専門医であり、内分泌内
科専門医の資格も併せ持
つ。同医師は「診療に当た
って患者の性格、仕事内容
生活環境など細かく聞いた
上でアドバイスを行ってい
くことにしている。」
同院では今年2回目とな
る糖尿病教室を8月8日に
開催予定で、その後も2カ
月1回定期的に行ってい
る。同機器で今まで分から
なかった高血糖や低血糖を
発見でき、また自己管理の
意識も高まる」と話す。

平成30年7月10日付の釧路新聞に、
当院で「フリースタイルリブレ」を
導入した取材記事が掲載されました
のでお知らせいたします。

